

年 組 名前：



持ち帰りのし紙で彩り

富士吉田 高校生らが企画



高校生有志が企画した弁当のし紙

「テイクアウトしたお弁当を楽しく味わうきっかけに」。富士吉田市の高校生有志と地域おこし協力隊が連携し、テイクアウトした弁当を包むのし紙を作った。富士山などをデザインした3種類で、市の公式フェイスブックからダウンロードできる。

地域振興・移住定住課題に「地域活性化グループ「かえる」と、新型コロナウイルスによる外出自粛の感染拡大による市内の飲食店で、影響を受けた市内の飲食店がテイクアウトを始めたことを受け、高校生有志による「地域活性化グループ「かえる」が企画。地域おこし協力隊の片岡美央さんがデザインを担当した。のし紙はA3判の3種類。表と裏にそれぞれ、富士山やご飯などの絵に「富士山の台所」「これぞ吉田の味」などの文言が記されている。飲食店が自由にメッセージを添えるスペースもある。

4月末から一部の飲食店に使用してもらったところ、かわいい。気持ちが良い。など好評だったことから、より多くの飲食店に使用してもらおうと、市の公式フェイスブックからダウンロードできるようにしたという。

デザインを担当した片岡さんは「幅広い世代に受け入れられるよう、レトロな駅弁をイメージしてデザインした」と話している。

(2020年6月19日付 山梨日日新聞 22面)

と説明。企画した高校3年生3人は「少しでも明るい気持ちでお弁当を味わってほしい。多くの飲食店に使ってもらえたらうれしい」と話している。

問1

この「のし紙」を作ったのは誰ですか。

.....

.....

問2

作ったきっかけは何ですか。

.....

問3

あなたなら住んでいる地域(市町村)を宣伝するために、どんなのし紙を作りたいですか、実際に書いてみましょう。